

東北森林管理局

森林技術・支援センター

たより

〒037-0305

青森県北津軽郡中泊町中里亀山540-8

TEL : 0173-57-2001

FAX : 0173-57-4929

E-mail : t_gijyutu_c@maff.go.jp

平成29年度 コンテナ苗低密度植栽試験現地検討会（盛岡森林管理署）



平成29年10月5日（木）に試験地において、岩手県、林業事業者等を対象にコンテナ苗低密度植栽の現地検討会を盛岡森林管理署の雫石町取染山で開催しました。

当日、現地検討会には岩手県8名など総勢約58名の参加をいただき、午前中の基調報告では森林総合研究所東北支所の野口主任研究員より「再造林コストの低減に向けた低密度植栽とコンテナ苗の利用」について説明があり、その後当センターより平成27年度から実施している低密度植栽・下刈り省略試験の調査結果を説明し、参加者は、低密度でのスギコンテナ大苗の生存率や成長量について興味深く聞き入っていました。午後からは試験地で現地概要や試験調査結果の報告を行い、その後、

スギコンテナ大苗の植栽木、競合植生などの状況を確認しました。参加者からは「どのような方法で低密度の苗間で植付けしたのか」、「下刈り工程が植栽密度が低いと上がっているのはなぜか」等の質問・意見が出され、活発に意見交換が行われました。

今後、当該地の低密度植栽試験について必要時期に成長量調査等をすすめることとしています。
【森林技術専門官 増田】



平成29年度 一貫作業システム現地検討会（三八上北森林管理署）

平成29年10月12日（木）に、青森県、林業事業者等を対象に一貫作業システムの現地検討会が三八上北署の上北郡七戸町北天間館で開催されました。

当日、現地検討会には青森県5名など総勢約93名が参加し、午前中の基調報告では、森林総合研究所東北支所天野グループ長より「一貫作業の効果と課題」について説明があり、その後東北森林管理局担当者より東北森林管理局の一貫作業システムを含む低コスト林業について説明がありました。木材価格の上昇が見込めない状況が続く中、コンテナ苗やコスト面について興味深く聞き入っていました。午後からは現地の一貫作業箇所概要の説明の後、参加者に実際のコンテナ苗の植栽作業がありました。参加者からは「各現場に合わせた作業工程（地拵え、刈り払い）にしてほしい」等の質問・意見が出されました。

また、実際に現地で一貫作業を実施した業者からは「植付けのことを考えて、枝条集積しやすいように集材路作設を工夫した」などの感想が出されるなど、活発に意見交換が行われました。

今年度も昨年度と同様に一貫作業システムによる現地検討会が流域単位で行われ、それぞれの地域での波及効果が期待されています。
【副所長 小笠原】



屏風山地区海岸防災林現地研修会（津軽森林管理署金木支署）

地域住民に屏風山の防災林としての重要性等に理解を深めていただく一助として、津軽森林管理署金木支署が主催し、平成29年10月18日に地域住民13名、行政担当、国有林野職員を合わせ総勢34名が参加し、現地検討会が開催されました。

午前中の講演では、当センターから「屏風山海岸林の現状」について踏査並びに25箇所（箇所）の林分調査結果をもとにクロマツ林と広葉樹の生育状況の報告を行いました。続いて青森県 西北地域県民局の山内主幹が「松くい虫被害、ナラ枯れ被害」について被害の発生状況、監視対策、防除対策、普及・啓発等について説明を行い、特に被害木の発見・判別について詳しい説明がありました。

西北地域県民局の山内主幹



出来島埋没林



午後は海岸部で実施された治山工事箇所と出来島埋没林を見学しました。総括治山技術官が海岸地形、海流の状況・変化と工種の選択、気候変動と各地の埋没林の関係等を説明し海岸林の形成についてダイナミックな自然変動のスケールを実感できました。

深浦町では松くい虫被害拡大防止の取組が行われていますが、その具体的な取組、海岸林の状況、海岸林を守る治山事業の実行等屏風山海岸防災林に関わる複合的な視点を提供できました。地域住民が「地元の森林である防災林を守る」という意識醸成、活動に繋がっていくよう取組を継続していきたいと思えます。【所長 笠井】

森をさんぽ

増田です！



秋の季節が終わり、冬の季節が到来しようとしています。森の中は、広葉樹が葉を落とし、視界が開けていますが、その中で、ふと目を凝らすと樹木の上部に塊状の枝葉のようなものがあります。たびたび耳にすることのあるヤドリギという植物です。ヤドリギは自ら光合成する一方で宿主である樹木から栄養をもらうことで生存している半寄生植物です。ヤドリギは冬季に淡黄色の丸い果実をつけ、それを鳥類が食べ、



その鳥類の糞が樹木に付くことで発芽し、寄生します。当然ですが、宿主である樹木が枯死すれば、ヤドリギも栄養をもらうことができず枯死します。今の季節に森や公園あるいは街路樹の近くを通るとき、ふと見上げてみるとヤドリギに出会えるかもしれません。



なかどまり町民文化祭(10月28日)

今年もパネル展、樹木展示、パンフレット配布などを通じて国有林や当センターに関するPRを行いました。

写真は松ぼっくりに色付けし、ミニクリスマスツリーを作成している様子です。

【企画係長 金澤】



編集後記

今年度の現地検討会も無事に終わりました。関係各位の皆様お疲れ様でした。

現在、課題の取りまとめや交流発表会へむけて準備しているところです。

今年も残りわずかとなりましたね。例年より寒い日が続いています。皆様体調管理に気をつけ、楽しい年末をお過ごし下さい。

